

結束バンドを再使用する（ステンレス線にて）

2019.05.27/2024.06.06 改訂

トミー・マック

1. 要 点

「ファービ人形」や「おいかっこアンパンマン」など、ぬいぐるみの足元の固定に結束バンドを使用しているおもちゃがあります。

しかし、この結束バンドは250mmや300mmの長さであり、長さの割には結束部が小さく特殊なものです。しかも100均などで売っていません。

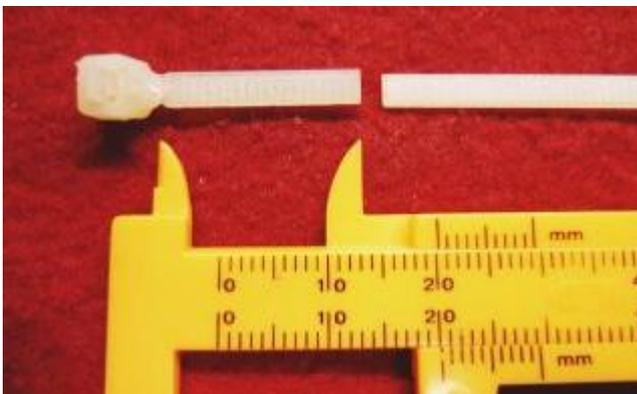
従って、切断した結束バンドを再生し、修理に使いましょう。

2. 方 法

(1) 修理するおもちゃから結束バンドの確保

「くすぐりエルモEX」の例で、

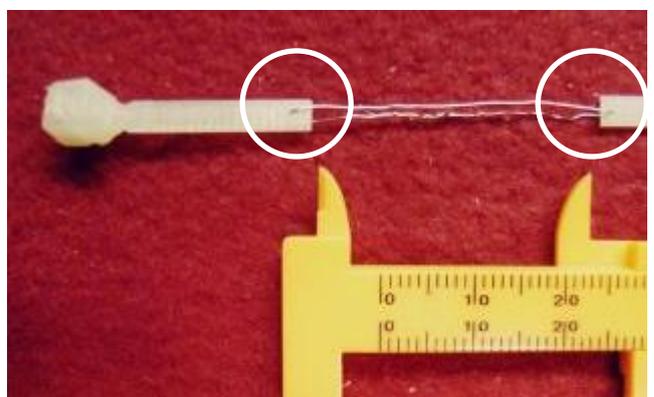
結束部に差込んである差込みを、結束部 →
根元の差込側で切断します。



← 結束部から約20mm.の所で切断します。

(2) 切断した結束バンドをステンレス線で接続

- 結束バンドにφ0.5mm位の穴（白丸部）を2個開けます。
- 穴にφ0.3mmのステンレス線を通し、間隔を約30mm（結束部に差し込む長さ）を設けて、1重で縛ります。
- 結束バンドの裏と表（ギザギサ模様）とに注意し、面を合わせます。
- 縛った部分が間隔のほぼ中央になるようにし、線の先端が出来るだけ飛び出ないようにします。



(3) ホットメルトを塗布

グルーガンでホットメルトをステンレス線の上に、出来るだけ平らに垂らします。

裏と表にほぼ均等にします。



結束バンドを再使用する（ステンレス線にて）

（4）表面を平らに

- ホットメルトの温度が少し下がり柔らかい内に、指のひらで挟んで平らに成型します。
- 温度が高いと火傷するので、注意してください。
- 裏表を共にある程度平らになったら、グルーガンの先で更に平らにします。この時ホットメルトが両端へはみ出ますが、後で処理するので気にしないでください。



（5）幅合わせ

上下のはみだしを切り、幅を元の幅近くにまでします。



（6）結束部に残った差込み除去



結束部に残った差込みを、押し込んで取り除きます。

（7）ホットメルトの代用（収縮チューブ被せ）

ステンレス線で繋いだままでは筒状の挿入部に入れる時、繋いだ両端のバンドの角が筒部に引っ掛かり入れにくいです。角を無くすため収縮チューブを被せ収縮します。



終わり